

# 役場の仕事を 町民みんなで担う 「協働」について考える

7月号の特集では、公的サービスの多様な担い手のひとつとして、アウトソーシングの現状と課題、展望について、事例をもとに考えました。各事業体が単独で頑張るだけではなく、互いの連携や組織化に向けて「層の改革が必要であることが浮かび上がってきました。8月号では、自治の多様な担い手ともいえる「協働」について、本町における事例をもとに考えてみます。

## Ⅰ 「協働」って、 どんなこと？

近年、どの自治体でも「協働」の必要性を掲げ、さまざまな事例や概念についての研究が行われています。「協働」というのは、「共同」や「協同」と何が違うのでしょうか。

インターネットで「協働」を検索すると、膨大な事例と研究報告が紹介されます。まだ明確な概念規定はないようですが、おおよそ次のように理解されています。

——協働とは、行政と住民など異なる主体が、地域課題を解決するために、それぞれの特性を活かして対等な立場で協力しあひ、ともに働くこと——

この「対等」「協力」のあり方については、様々な理解が見られます。一般的には、①住民が主体で行政が協力するタイプ、②住民と行政それぞれが主体となるタイプ、③行政が主体で住民が参加・協力するタイプなどに分類されます。つまり、地域の特性に見合った方法を柔軟に採用して地



域の課題を解決しよう、という姿勢が基本になっています。それでは、わが町にはどんな「協働」があるのでしょうか。そして、それはどんな特性と課題を有しているのでしょうか。

## Ⅱ 協働の現場から

### しらかば会の「寿のつかい」

町内には、長い期間活動している住民団体がいくつかあります。婦人ボランティアしらかば会



「寿のつかい」をお届けしたお宅で話し込むこともあります。(しらかば会)

は、平成21年に29年目を迎えました。その間、欠かすことなく毎月、独居高齢者に手作りのお弁当を届ける「寿のつかい」活動を継続してきました。お弁当を届け

きたし、愛和の里や喜茂別高校と喜茂別中学校も全員で参加してくれましたけど、来年から高校がなくなりすからね。地域の農家の若者もつと参加してくれるといいんだけど、ちょうど農作業で忙しい時期だね。」

今年、喜茂別高校最後の3年生が一人、先生方と一緒に参加し、地域の方々から「寂しくなる



しらかば会のお弁当づくり

る対象は、男性70歳以上、女性75歳以上、夫婦の場合は80歳以上の方で、現在は毎月100名近くの方に届けています。初代の今川澄子会長から、二代目表谷政枝会長を経て、3年前から山本玲子さんが会長として頑張っています。山本さんに、お話を聞きしました。

「毎月、みんなで作ったお弁当を届けながら、声を掛けて様子を見てみます。みなさんの元氣な笑顔を見るのが、とても楽しみです。話し出すと止まらなくて、なかなか離してくれない

方もいらっしゃるんですよ。みなさん、ほんとに喜んでくれます。届けて欲しいという方は他にもいらつやいますけど、私たちの人数やお弁当を作る経費の関係で、なかなか対応できていないんです。ですから、対象者でも少し元氣な方には待っていただいています。町からいただいている補助金や会費だけでは足りないの、山菜や畑でとれた野菜も持ち込んでいます。30名の会員も高齢化してきたので若い人にも参加して欲しいんですけど、なかなか。」「世代交代が進まないという話に言葉も湿りがちですが、老人クラブの男性陣が毎回車を運転して配達に協力してくれると、うれしそうでした。

### 双葉地区フラワーストリート 実行委員会による 環境美化活動

双葉地区のフラワーストリート事業は今年21年目を迎えました。が、昨年、サミット協賛事業への協力を機に20年で幕を閉じようかと役員の間で話し合われたそうです。平成元年のふるさと創生

をきっかけに始まったこの事業は、平成2年度には北海道から「緑の環境づくり実践活動表彰」を受け、翌平成3年度からは自治省の「コミュニティ活動活性化地区」に指定され、その後も、国や道、各種団体から様々な賞を受けるなど、地域への貢献が認められてきました。そんな素晴らしい活動なのにどうして？と思ひ、この事業のはじめから関わってきた中野忠義さんにお話を聞きしました。

「この事業を始める前から、地域の人たちは公共の場や家の前などに花を植えていたんです。8軒の農家で花壇クラブというのを作って花の苗を育て、それを植えていました。ふるさと創生ということで町から最初に話があったときは、苗を町が提供するということでした。でも、その申し出は断ったのです。自分たちの力で苗を作るところからやらないと、自発的な気持ちを持続しないと、思ったからです。結局、町からは補助金をいただき、毎年それで経費をまかなってききました。今は、人手の確保が課題ですね。私らは高齢化して



双葉フラワーストリート花植え